

令和8年度からの基礎工学部学校推薦型選抜における女性枠の新設に関する  
基礎工学部からのメッセージ

令和6年4月  
大阪大学基礎工学部

日本の大学の理工系分野における女性の在籍率が海外の大学と比較して依然として極めて低い現状に対し、大阪大学基礎工学部ではより積極的な措置を取ることにしました。この取り組みの一環として、学校推薦型選抜に女性枠を設置します。

この制度は、ポジティブアクションの一環として、基礎工学部において数学・物理学・化学・情報学・生物学などの基礎学問や先端研究に対して興味をもつ女性を応援し、それらを一層専門的に学ぶ機会を得られるようにするためのものです。また、それらの学問や研究の先にある職業としての研究者・エンジニアにおいても女性の活躍が強く求められており、そこでワクワクしながら力を発揮してほしい、それを手助けしたいという願いからこのような入試を始めることとしました。

この制度は単に女子学生の比率を上げるためだけのものではなく、ジェンダーバランスのとれた学びの場を提供することにより、性別を問わず全ての学生にとって大きなメリットをもたらすと考えています。特に、多様な視点からのアイデアを共有して尊重し、それを実現すべく協力をする過程から学ぶことは多く、ゆくゆくは関係者全員のアクティビティが活性化することが期待されます。このことは、大阪大学や社会全体にとっても多様性に富んだ豊かな環境を築く一助となると考えています。

この入試制度を通じて、未来の研究者やエンジニアが異なる背景と視点を尊重しながら複雑な問題に取り組み、共に協力できる機会を提供し、より成熟した社会を築いていくことを願っています。多くの学生が大阪大学基礎工学部で学び、それぞれの関心を追求して自らの可能性を大いに開拓することを期待しています。

また、近い未来に大阪大学基礎工学部において本措置が無くとも女性の在籍率が改善されていき、将来的には本措置が撤廃されることを希望します。

本件担当  
大阪大学基礎工学部入試委員会  
sigma-admission@office.osaka-u.ac.jp